

ごみの分別について

伊奈町とのごみ処理広域化及び「プラスチック資源循環促進法」（令和 4 年 4 月施行）の対応から、本市はごみ分別区分の大幅な変更を予定しており、以下のスケジュールで進めていく。

【新たなごみ分別スケジュール（令和 4 年 7 月広報掲載）】

新たなごみの分別収集体制の周知及び実施スケジュール																
大項目	小項目					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
ごみ処理施設の建設	計画・調査等															
	建設工事															
分別区分等の住民周知	分別区分・排出方法の決定															
	住民説明の実施															
	広報・周知															
	新たな分別区分の暫定的実施															
	新たな分別区分の本格実施															

1. 審議会における新たな分別区分・収集体制審議のスケジュール（案）

年度	時期（目安）	内容
令和 6	8 月 5 日 （本日）	第 1 回廃棄物減量等推進審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会における新たな分別区分・収集体制審議のスケジュール（案） ・ 上尾市と伊奈町の分別・収集の違い ・ 新たなごみ分別の検討状況 ・ 本審議会での審議事項（案）
	2 月	第 2 回廃棄物減量等推進審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問 ・ 審議事項への対応案 ・ 新たな分別区分・収集体制素案

令和７	７月	（仮）第１回廃棄物減量等推進審議会 ・ 視察（プラスチック資源化工場）
	１０月	第２回廃棄物減量等推進審議会 ・ 審議事項への対応案 ・ 視察を受けての素案への意見反映 ・ 素案への市民コメント実施について
	１２月中	分別区分案に対する市民コメント実施 ※ 実施にあたっては、自治会などに周知する。
	２月	第３回廃棄物減量等推進審議会 ・ 市民コメント実施結果報告 ・ 新たな分別区分・収集体制素案の審議 ・ 上尾市における家庭系ごみの有料化の方向性 ・ 答申
	３月	分別区分・収集体制決定

2. 上尾市と伊奈町のごみ分別・収集体制について

【上尾市家庭系ごみ分別区分】

分別区分	主な内容例
可燃物	生ごみ、紙屑（資源化できない）、木・枝・板・落ち葉・雑草、布類（汚れのひどい）、革製品、紙おむつ、保冷剤、乾燥材、 プラスチック など
金属・陶器	陶器くず、傘、包丁、鍋、扇風機（粗大ごみサイズ内）、炊飯器（粗大ごみサイズ内）、ハンガー、電球など
飲料缶・スプレー缶	スチール缶、アルミ缶、スプレー缶・カセットボンベ
ペットボトル	ペットボトル（PET マークのあるもの）
ガラス	ビン類、割れガラス、鏡
紙類・布類	新聞紙、雑誌・ 雑がみ 、段ボール、布類・古着
牛乳パック	内側が白くないもの（金属箔など）は除く
有害ごみ	廃乾電池、ボタン電池、廃蛍光管・水銀計、ライターなど
粗大ごみ	60cm×30cm×30cm を超えるごみ
充電式小型家電	デジタルカメラ、ビデオカメラ、CD プレーヤー、デジタルオーディオプレーヤー、ゲーム機、電子辞書、IC レコーダー、携帯電話

【伊奈町家庭系ごみ分別区分】

分別区分	主な内容例
可燃ごみ	生ごみ、 紙屑 、草花・ワラくず・枝木、衣類（再利用できないもの）、革製品（ 革靴除く ）、紙おむつ、保冷剤、乾燥材、使い捨てカイロなど
不燃ごみ	プラマークのついていないプラスチック 、陶磁器等、傘、包丁、鍋、扇風機（粗大ごみサイズ内）、炊飯器（粗大ごみサイズ内）、ハンガー、 ガラス など
カン	スチール缶、アルミ缶、スプレー缶・カセットボンベ
ペットボトル	ペットボトル（PET マークのあるもの）
透明ビン・色付きビン	透明ビン・色付きビン
古紙・古着	新聞紙、雑誌、段ボール、布類・古着、 牛乳パック
プラスチック製容器包装	ペットボトルキャップ・ラベル、食品包装用ラップフィルム・トレイ、シャンプー、サラダ油・洗剤等の容器、菓子袋
廃蛍光管・水銀計・電球	蛍光管、水銀計、電球
廃乾電池・ライター	廃乾電池、ボタン電池、ライター
粗大ごみ	45ℓごみ袋の口が結べない大きさのごみ
充電式小型家電	デジタルカメラ、電子たばこ、電動シェーバー、電動歯ブラシ、モバイルバッテリー、タブレット端末など

【上尾市家庭系ごみ収集回数（参考：A 地区）】

	月	火	水	木	金
第 1 週	可燃物		紙類・布類	可燃物	ペットボトル
第 2 週	可燃物		飲料缶 スプレー缶	可燃物	
第 3 週	可燃物			可燃物	ペットボトル
第 4 週	可燃物		金属・陶器 小型家電	可燃物	ガラス

全 1 4 回

【上尾市事業系ごみ分別区分】

分別区分	主な内容例
紙類	使用済みティッシュ、事務用インデックスほか、リサイクルできない紙類
生ごみ	残飯、茶殻、たばこの吸い殻
プラスチック類	弁当の容器等（従業員の個人消費に限る）
紙おむつ	介護施設、病院、ペットショップ等の紙おむつ、猫砂
木・枝・草	刈草、剪定枝、葉、家具販売店の解体した木片

【伊奈町家庭系ごみ収集回数（参考：北地区）】

	月	火	水	木	金
第 1 週	可燃ごみ	プラスチック 製容器包装	不燃ごみ	可燃ごみ	透明ビン
第 2 週	可燃ごみ	プラスチック 製容器包装	古紙・古着	可燃ごみ	カン・ ペットボトル
第 3 週	可燃ごみ	プラスチック 製容器包装	不燃ごみ	可燃ごみ	色付ビン
第 4 週	可燃ごみ	プラスチック 製容器包装	古紙・古着	可燃ごみ	カン・ ペットボトル

全 2 0 回

【伊奈町事業系ごみ分別区分】

分別区分	主な内容例
生ごみ	食品の食べ残し、売れ残り、調理残渣など
燃えるごみ	汚れて資源として扱うことができない紙ごみ
資源物（古紙）	新聞、雑誌、段ボール、カタログ、コピー用紙など
剪定枝・刈草	事業所敷地内の樹木等。直径 15cm 未満、長さ 1m 未満
木くず	木製品、木製パレットなど
古布類	不要な作業着・制服（合成繊維除く）のぼり旗など

3. 新たなごみ分別の検討状況

本市及び伊奈町は、ごみ処理広域化に向けたごみ分別の統一案を「上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画」（令和４年３月策定）で定めた。計画策定において、有識者、審議会代表、住民代表、団体代表などで構成する「上尾・伊奈ごみ処理広域化検討会議」を設置し、会議を全７回開催し、新たな分別に向けて検討した。
（当審議会からは長谷川会長、安藤委員が参加）

【統一案（上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画より）】

名称		内容例	排出方法		備考
			容器	収集方法	
可燃ごみ		生ごみ・紙くず・木や枝・布類（汚れて再利用できないもの）・革製品等（プラスチック製容器包装を除く）	透明・半透明の袋に入れて排出	集積所収集	プラスチック製品については柔軟に対応していく
不燃ごみ		陶器くず・傘・包丁・割れガラス・鏡等（小型家電を除く）			—
資源物	飲料缶・スプレー缶	スチール缶・アルミ缶・スプレー缶、カセットボンベ			—
	ペットボトル	ペットボトル（飲料用、酒類用、調味料用等）（PETマークのあるもの）			—
	透明ビン・色付ビン	透明なビン・色のついているビン			—
	紙類・布類	新聞紙・雑誌・雑がみ・段ボール・布類・古着			—
	プラスチック製容器包装	ペットボトルのキャップ・ラベル・食品包装用のトレイ等（プラマークのあるもの）			プラスチック製品については柔軟に対応していく
粗大ごみ		粗大ごみの大枠の規定を検討する	そのまま排出	個別有料収集または自己搬入	処理方式や施設整備を踏まえて詳細区分を検討する

4. 本審議会での審議事項（案）

① プラスチックの分別について

令和 4 年 4 月に施行された「プラスチック資源循環促進法」により、今まで分別が推進されてきた「容器包装プラスチック」に加えて、それ以外の「製品プラスチック」についても分別収集、再商品化を行わなければならない。

また、同法ではプラスチック資源として分別する際の「分別基準」の策定を市町村に義務付けており、本市も今回新たに検討する。

② 一部自治体で実施されている「剪定枝」の分別について

県内一部自治体では、庭や公園などの樹木の「剪定枝」の資源化が行われている。

剪定枝を分別・資源化することで焼却量は減少するが、資源化による処理工程の増加、資源化した物の提供先の確保などの課題がある。今回新たなごみ分別の検討に合わせて検討する。

③ 事業系ごみの分別について

家庭系ごみの分別を変更するにあたり、事業系ごみの分別も変更するか検討する。現在、本市の事業系ごみの排出原単位は県内で最も少なく、現状維持する方向で検討する。

④ 新たな分別区分での収集体制について

分別を変更することに伴い、現在の収集体制も見直す必要があり、効率的な収集体制の構築を目指し、収集体制を検討する。

⑤ 新たな分別・収集の市民への周知方法について

新たな分別に変更する際には、市民、事業者の協力が不可欠。住民説明会の開催のほか、広報、SNS など各種媒体での周知について検討する。

⑥ 家庭系ごみの有料化について

ごみ減量・再生利用の推進及び排出量に応じたの負担公平化並びに循環型社会形成推進交付金の活用において、家庭系ごみの有料化について検討する。

上記審議事項は諮問の上、次回以降審議会で審議する。